

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支 払 日	✓ 令和 7年 7月 23日 ✓			
支 払 先	八幡屋磯五郎 本店 、			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	事 務 費	R7新友会視察(7/28~29) 視察先手土産代	7,584円
	研 究 研 修 費		※視察先3ヶ所	
	調 査 旅 費			
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	その(他)の経費			
合 計				7,584円
(領収書添付欄)				

新友会 領収証様

2025年 7月23日 (水)

¥7,584-

上記正に領収しました(消費税等
但し 株式会社八幡屋誠五郎 本店
登録番号 T7100001004958
※保管上のお願い TEL:026-232-8277
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

¥561-を含みます)
として



0003-3020-6920

VISA/Master ¥7,584
(消費税等 ¥561)

2025年 7月23日 (水) 17:13 No:0003

4962968070968
0165タメシタミ
単648× 9個 内 ¥5,832
4962968092137
0180チミトカラシ/タネ
単292× 6個 内 ¥1,752

小 計 ¥7,584
8%対象額 8.00% ¥7,584
8%内税額 8.00% ¥561
合 計 ¥7,584
(内消費税等 ¥561)



A2025072300036919A

登録番号 T7100001004958

責No:00000001:
取引No6919 15点買

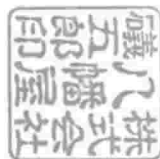
新友会 領収証様

2025年 7月23日 (水)

¥7,584-

上記正に領収しました(消費税等
但し 株式会社八幡屋誠五郎 本店
登録番号 T7100001004958
※保管上のお願い TEL:026-232-8277
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

¥561-を含みます)
として



0003-3020-6920

VISA/Master ¥7,584
(消費税等 ¥561)

2025年 7月23日 (水) 17:13 No:0003

4962968070968
0165タメシタミ
単648× 9個 内 ¥5,832
4962968092137
0180チミトカラシ/タネ
単292× 6個 内 ¥1,752

小 計 ¥7,584
8%対象額 8.00% ¥7,584
8%内税額 8.00% ¥561
合 計 ¥7,584
(内消費税等 ¥561)



A2025072300036919A

登録番号 T7100001004958

責No:00000001:
取引No6919 15点買

令和7年 新友会視察

小浜市・金沢市(7月28日～29日)

視察先①

小浜市(御食国若狭おばま食文化館)

担当者:経営企画部 御食国ブランド戦略課

宮本課長補佐／中田専門員

視察事項「食の街づくりについて」

視察先②

石川県立図書館

担当者:経営管理課 高松様

視察事項「石川県立図書館の概要」

視察先③

金沢市観光協会

担当者:事務局長 若林様

視察事項「金沢市の観光戦略について」

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支 払 日	✓ 令和 7年 7月 24日			
支 払 先	北沢哲也／宮崎治夫／桜井 篤／加藤英夫			
活 動 に 要 し た 経 費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	旅 費	R7新友会視察(7/28～29) 旅 費(JR切符代等)	24, 000円
	研 究 研 修 費			
	調 査 旅 費			
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	そ の 他 の 経 費			
合 計				24, 000円
(領収書添付欄)				

福井県小浜市 石川県金沢市
 <小浜市役所> <石川県立図書館>

＜通常期＞

鉄 道	行 先	自	長野	敦賀	經由	金沢	經由	小浜	至	小浜	運 賃	グリーン料金
	路 程		353.2 km	49.5 km		km		km		402.7 km	6,930 円	0 円
急行 料金	特別職		5,820 円		円		円		円	計 5,820 円	小計 特	12,750 円
	一般職	G	円	G	円	G	円	G	円		一	円
船	行 先	自	小浜	敦賀	經由	金沢	經由	長野	至	長野	運 賃	グリーン料金
	路 程		49.5 km	125.1 km		228.1 km		km		402.7 km	6,930 円	0 円
急行 料金	特別職		円	3,170 円		5,050 円		円	円	計 8,220 円	小計 特	15,150 円
	一般職	G	円	G	円	G	円	G	円		一	円
貨	行 先	自		小浜駅→敦賀駅（在来線移動） 敦賀駅→金沢駅（新幹線移動） 金沢駅で途中下車し 金沢駅→長野駅（新幹線移動）				經由	至		運 賃	グリーン料金
	路 程		km					經由	km	0.0 km	円	0 円
急行 料金	特別職		円					円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G	円	G	円	G	円	G	円		一	円
船	行 先	自			經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金
	路 程		km		km	km	km	km	0.0 km	円	0 円	
急行 料金	特別職		円		円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G	円	G	円	G	円	G	円		一	円
貨	行 先	自			經由	經由	經由	經由	至	山科	運 賃	グリーン料金
	路 程		km		km	km	km	km	0.0 km	円	0 円	
急行 料金	特別職		円		円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G	円	G	円	G	円	G	円		一	円
船	行 先	自			經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金
	路 程		km		km	km	km	km	0.0 km	円	0 円	
急行 料金	特別職		円		円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G	円	G	円	G	円	G	円		一	円
貨	行 先	自			經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金
	路 程		km		km	km	km	km	0.0 km	円	0 円	
急行 料金	特別職		円		円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G	円	G	円	G	円	G	円		一	円
船	行 先	自			經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金
	路 程		km		km	km	km	km	0.0 km	円	0 円	
急行 料金	特別職		円		円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G	円	G	円	G	円	G	円		一	円
貨	行 先	自			經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金
	路 程		km		km	km	km	km	0.0 km	円	0 円	
急行 料金	特別職		円		円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G	円	G	円	G	円	G	円		一	円
船	行 先	自			經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金
	路 程		km		km	km	km	km	0.0 km	円	0 円	
急行 料金	特別職		円		円	円	円	円	計 0 円	小計 特	0 円	
	一般職	G	円	G	円	G	円	G	円		一	円
貨	行 先	自			經由	經由	經由	經由	至		運 賃	グリーン料金
	路 程		km		km	km	km	km	0.0 km	円		

書 記 内 払 支 合 集

[illegible]

合計	<u>135,600</u>
----	----------------

JR代金

@ ¥27,900

日当@3,000×2日

@¥6,000

行政視察報告書 (No.1)

令和 7年 8月 4日

代表者 寺 沢 さ ゆ り 様

報告者氏名 (代表) 北 沢 哲 也

次のとおり、視察をしましたので関係書類を添えて報告いたします。

1 視察者氏名

宮 崎 治 夫	桜 井 篤	加 藤 英 夫	北 沢 哲 也

2 視察期間

令和 7年 7月 28日 ～ 令和 7年 7月 29日

3 視察先、視察事項、選定理由

視 察 日 時	視 察 先	視 察 事 項 及 び 選 定 理 由
R7年 7月 28日(月) 13時 15分～ 14時 45分	福井県 小浜市	【御食国若狭おばま食文化館】 食育政策の充実および地域資源を活かしたまちづくり施策の先進事例を調査する。
R7年 7月 29日(火) 9時 30分～ 11時 00分	石川県 金沢市	【石川県立図書館】 公共図書館が果たすべき機能が拡大する中で、進めてきた整備・運営方針、空間デザイン、地域資源の活用、教育・文化との連携を調査する。
R7年 7月 29日(火) 13時 30分～ 14時 30分	石川県 金沢市	【金沢市観光協会】 インバウンド観光の促進において全国的にも先進的な取り組みを進める金沢市において、金沢市観光協会がどのような戦略かを調査する。
年 月 日 時 分～ 時 分		

行政視察報告書 (No.2)

報告者氏名 北 沢 哲 也 

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
		視察目的
		本視察は、福井県小浜市および石川県金沢市における先進的な自治体政策や観光戦略を学び、長野市の政策や取り組みに活かすことを目的としました。
		視察先 1: 福井県小浜市
		視察内容
		小浜市は「御食国」としての歴史を活かし、食文化を核としたまちづくりを推進しています。平成 13 年に「食のまちづくり条例」を制定し、食を中心に教育、文化、健康など多方面に連携した政策を展開しています。特に「生涯食育」や「義務食育」の概念を提唱し、子どもたちに食材への感謝や調理体験を通じた非認知能力の育成を実施しています。
		「キッズキッチン」では、幼児が包丁や火を使った調理を主体的に行い、集中力や協調性を育む教育を行っています。また、学校給食では地元食材を活用し、児童生徒が食材の生産地や生産者を理解する取り組みを実施。これにより、地域の食文化を継承しつつ、地産地消を推進しています。
		所感
		小浜市の取り組みは、食を通じて地域の歴史や文化、教育を結びつける点で先進的です。非認知能力の育成や市民・団体との連携による政策推進は、長野市でも参考にできる要素です。

行政視察報告書 (No.2)

報告者氏名 北 沢 哲 也 

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
		視察先 2: 石川県立図書館 (金沢市)
		視察内容
		石川県立図書館は、令和 4 年に新設され、従来の図書館の枠を超えた「知の複合拠点」として再構築されています。吹き抜け構造の円形劇場のようなデザインや地元産材の活用により、温かみのある空間を実現。図書館機能に加え、文化交流や公文書館機能を併設しています。
		子どもエリアでは、年齢別ゾーニングや自然体験エリア「おはなしの森」を設置し、子どもたちが本や自然に親しむ環境を提供。
		さらに、「おしゃべり可能」や飲食可能エリアの設置など、利用者の多様性に対応した柔軟な運営が特徴です。
		所感
		石川県立図書館は、地域文化の発信拠点としての役割を果たしており、非認知能力の育成や生涯学習の観点でも注目すべき内容です。 長野市の図書館リニューアルにおいて参考にできる事例です。
		す。
		視察先 3: 金沢市観光協会
		視察内容
		金沢市は、インバウンド観光の促進において全国的にも先進的な取り組みを行っています。 富裕層をターゲットにしたプロモーションや外国人観光客向けのルールブック作成を実施。 さらに、

行政視察報告書 (No.2)

報告者氏名 北 沢 哲 也 

月 日	視 察 先	視察結果 (参考となった事項、考察)
		夜間イベント「伝統文化ナイトシアター」や「金沢ナイトミュージアム」を通じて観光の時間的・空間的分散を図っています。 また、周辺都市との連携による観光ルート開発や交通網の整備を推進し、広域的な観光戦略を展開しています。観光ボランティアの合同研修を実施し、地域全体で観光力を向上させる取り組みも行っています。 所感 金沢市は、観光客の質向上を目指した戦略やオーバーツーリズム対策が先進的です。広域連携や人的資源の育成も含め、長野市の観光戦略に活かせる内容です。 提案と検討事項 1. 食育の推進 地元食材を活用した料理体験や学校給食メニューの見直しを検討し、地域資源を活かした食育を推進します。 2. 図書館のリニューアル 地元産材の活用や自然体験エリアの設置を通じて、地域文化の発信拠点を目指します。 3. 観光戦略の強化 富裕層向けのプロモーションや広域連携による観光地の分散化を推進します。 4. 人的資源の育成 観光関係者の合同研修を実施し、地域全体の観光力を向上させます。 以上の視察結果を基に、長野市の政策や取り組みの充実を図るべ

行政視察報告書 (No.2)

報告者氏名 北 沢 哲 也 

[illegible]

行政視察報告書

(視察参加者必須)

報告者氏名 加藤英夫



月 日	視 察 先	視察結果（参考となった事項、考察）
令和7年 7月28 日	福井県小浜市	視察の目的 本市における食育政策の充実および地域資源を活かしたまちづくり施策を検討するにあたり、食文化を中核に据えた自治体政策の先進事例として、小浜市の取組を学ぶことを目的として視察を実施した。 視察内容の概要 (1) 御食国（みけつくに）としてのまちづくり 小浜市は、古代より朝廷に食材を納める「御食国」としての歴史を持ち、この歴史的背景を生かした「食のまちづくり」を推進している。 単なる観光や産業振興にとどまらず、教育、文化、健康といった多方面と連動した政策を展開している点が特徴的である。 (2) 小浜市食のまちづくり条例 平成18年に「小浜市食のまちづくり条例」が制定され、食をまちづくりの根幹に据える方向性が制度的にも明確化された。 市民・事業者・行政の協働による取組が基本理念として掲げられており、地域全体で食に向き合う体制が整っている。 (3) 義務食育政策：真鯛給食による実践的食育 小浜市では「小浜で生まれた子どもすべてに食育を」という理念のもと、年に一度の真鯛給食を全児童に提供している。この取り組みでは、真鯛の捌き方や命への感謝の心を学び、食べ方の作法まで実地に指導している。食育が体験を通じた情操教育として機能している。 (4) 箸使いや言葉遣いの教育 幼少期から箸の持ち方、食事中的言葉遣いなど、食にかかわる礼儀作法を大切にし、それが将来の社会性や人間力の基礎となるよう、教育の中に自然に組み込まれている。 (5) キッズキッチンを活用 「キッズキッチン」は、教育旅行での体験学習の場として、また親子で参加できる料理教室や地域の子ども向け教室の拠点として広く活用されている。施設を通じて、家庭・地域・教育がつながる場が創出されており、持続可能な食育モデルの中核として機能している。

所感

小浜市の取組は、単なる食育にとどまらず、地域の歴史や文化、経済、教育などあらゆる分野を「食」という軸で有機的につなぐ点に先進性があると感じた。とりわけ、非認知能力の育成に注目し、食事作法や調理体験を通じて、子どもたちの集中力・協調性・自己肯定感を高めていく点は、長野市でも十分に参考にできる要素である。

また、行政主導ではなく、市民や教育現場、地域団体との連携によって食育を定着させていることが、継続性と共感を生んでいる。今後、長野市においても、地域資源を活かした食育の位置づけを再検討し、学校・家庭・地域が連携する仕組みづくりの重要性を再認識した。

本市への提案と検討課題

- ・長野市における「地域と連携した食育計画」の再構築
- ・非認知能力の育成を視野に入れた体験型食育の推進（例：地元農産物を活用した調理体験など）
- ・「地域の味を未来につなぐ」観点から、地元食材を活用した学校給食メニューの再評価
- ・小浜市のような条例制定を含む制度的枠組みの検討

令和7年 7月29日	石川県立図書館	視察の目的 公共図書館が果たすべき機能が拡大する中で、石川県立図書館が進めてきた整備・運営方針、空間デザイン、地域資源の活用、教育・文化との連携を学び、今後の本市設置するであろうの図書館行政に生かすことを目的とする。 施設・事業の概要 (1) 整備の背景と経緯 旧石川県立図書館は、建築後半世紀以上が経過し、施設の老朽化・耐震基準未達、閲覧スペースの狭さなど多くの課題を抱えていた。新たな図書館は、旧金沢大学工学部の移転跡地を活用し、2022年に新築・移転された。 この再整備により、単なる図書の貸出・閲覧機能にとどまらず、公文書館機能や文化交流機能も加えた「知の複合拠点」として再構築されている。 (2) 建物の特徴と空間デザイン ・吹き抜け構造の円形劇場のような建築デザインにより、開放感と視認性の高い空間が実現。 ・石川県独自の12テーマに沿って図書が分類され、加賀五彩（青・赤・黄・紫・緑）を方角に当てはめて色でゾーニングを行うなど、視覚的なナビゲーションが特徴的。 ・県産材を多用して温かみのある内装を実現し、国内県立施設の中でも最も多く県産材を使っている。 ・「だんだん広場」ではコンサートやトークイベントなど多様な催しが開催可能。 ・おしゃべりが許される図書館として設計され、交流・創造の場としての役割を意識している。 ・個性豊かな閲覧・学習スペースを多数配置。家具や空間デザインにも工夫が凝らされ、利用者が自分に合った居場所を見つけやすくなっている。 子どもエリアの特徴 ・子どもの発達段階に応じて年齢別にゾーニングを行い、それぞれに合った書棚や家具を設置。 ・視覚的にも触覚的にも楽しい空間を演出し、自然に本に親しめる工夫がなされている。 ・屋外には「おはなしの森」と名付けられたスペースがあり、里山をイメージした自然体験エリアでは、植物や昆虫の観察会、さつまいも収穫体験なども実施され、食育・環境教育にもつながっている。
---------------	---------	--

		所感 石川県立図書館は、機能・空間・デザインのすべてにおいて、従来の図書館像を刷新する施設であった。地域資源の活用（県産材・郷土テーマ）と、教育・文化・交流の複合機能の融合は、今後の自治体図書館の参考となる先進事例である。 また、「静かに読む場所」という固定観念を超え、おしゃべり可能な図書館という設計思想により、多世代の交流・探究・創造活動の場としての新しい価値が提示されていた。 子ども向けエリアの細かな配慮や、自然体験型のプログラム導入などは、非認知能力の育成や生涯学習との接続という観点でも注目すべき内容である。 本市への提案と検討課題 ・本市の図書館整備・リニューアルに際して、空間構成・テーマ性・県産材の活用といったハード面の工夫を検討する。 ・公文書館機能や市民交流スペースを図書館に併設することで、一体的な知のインフラ整備を進める。 ・「おはなしの森」のような屋外体験型学習空間の創出を通じて、図書館を起点とした食育・環境教育への展開を図る。 ・静と動、集中と交流が共存できる場づくりの工夫を参考に、多様な来館者に応える図書館運営を目指す。
--	--	--

令和7年 7月29日	金沢市観光協会	視察の目的 インバウンド観光の促進において全国的にも先進的な取り組みを進める金沢市において、金沢市観光協会がどのような戦略を講じているのかを調査した。特に、オーバーツーリズム対策、広域的な観光連携など、本市にとっても課題となっている点についての具体的な施策とその効果を学ぶことを目的とした。 施設・事業の概要 (1) 富裕層を意識した観光戦略 既に一定数のインバウンド客を確保しているため、量から質への転換を図り、富裕層をターゲットにしたプロモーションを展開。 (2) 外国語対応の観光ルールブックとマナー啓発動画の作成 外国人観光客の受け入れ体制の充実として、旅のマナーやルールをまとめた多言語パンフレットを作成。ネットでも啓発動画を公開している。 (3) 時間帯の分散化による混雑緩和 朝食文化を活かした「朝粥プロモーション」や、「伝統文化ナイトシアター」「金沢ナイトミュージアム」といった夜間イベントを通じて、観光時間の分散化を目指す。 (4) 観光地の空間分散化 中心地への集中を避けるため、魅力的な新たな観光スポットを掘り起こし、来訪者の流れを分散。端末位置情報の活用により混雑状況を可視化し、観光客への案内にも活用している。 (5) 官民連携による推進体制（金沢八家） 老舗8ホテルによる「金沢八家」が連携し、宿泊・飲食・観光の一体的なプロモーションを展開。観光客の質向上を目指した戦略を官民で協力して進めている。 (6) 広域連携 「北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会」により、高山線バス路線がドル箱路線へ成長し、現在は松本市まで接続。 冬季の観光客誘致では白馬との連携、混雑期には他市へ観光客を送客するなど、時期に応じた柔軟な戦略が特徴。 (7) 観光人材の質向上と連携 観光ボランティアの合同研修が近隣市町と連携して実施されており、案内スキルや地域理解を深める仕組みとなっている。 (8) 歴史文化の現代的活用 歴史的な「白山詣双六」を現代版にアレンジし、ストーリー性のある観光資源として活用。地域の歴史と観光を結びつけるユニークな取り組み。
---------------	---------	---

	所感 金沢市は、インバウンド観光の「量」を追求する時期を過ぎ、「質」への転換を見据えた観光政策を進めており、その先見性と実行力は非常に印象的であった。 また、季節の分散・時間の分散・観光地の“分散”という3軸でのオーバーツーリズム対策は、本市にも十分応用可能である。 官民連携による宿泊・観光の一体的な戦略、広域連携による交通と観光の組み合わせ、さらには人的資源の育成まで多面的に観光を捉えている点が特徴的であり、今後の本市の観光戦略においても非常に参考になる視察であった。 本市への提案と検討課題 ・本市でも、端末データ等を用いた観光動態の可視化と発信を進めるべき。 ・滞在型観光や高付加価値商品開発による富裕層向け戦略へのシフトを検討 ・地域文化・食文化と連動した夜間観光や朝観光の拡充による時間の分散化も効果的。 ・広域連携の枠組みの中で、冬季や閑散期の相互送客体制の構築を目指す。 ・地域の観光関係者同士の合同研修の仕組み化により、人的ネットワークの強化と質の統一が求められる。
--	--

<参加者> 北澤哲也・加藤英夫・桜井 篤・宮崎治夫 4名

7月28日（月）

福井県小浜市 御食国若狭おばま食文化館

・食のまち作りについて

御食国若狭おばま食文化館は、福井県小浜市が推進する「食のまちづくり」の拠点施設で、体験型ミュージアム。

1階には7,000点を超える食品レプリカが展示されており、和食と若狭の食文化について本物そっくりのレプリカを見ながら学ぶことができる。ミュージアムの中にはキッチンスタジオ、食の体験も楽しむことができる。

2階には若狭工房があり、本物の職人による指導を受けながら伝統工芸体験を楽しむことができる。若狭工房では体験だけでなく、若狭の伝統工芸品を購入することができ、お土産やプレゼントもゲットできる。

併設する温浴施設「濱の湯」や、別館レストラン「濱の四季」などもある（定休日や営業時間はそれぞれ異なる）。

小浜市では、2001年に市民や事業者の主体的な参画のもと、協働してまちづくりに取り組むことを基本として、全国初の食をテーマにした条例「食のまちづくり条例」を制定。人口約3万2000人の小さな街だが、奈良・飛鳥時代には若狭湾でとれる豊富な食材を天皇の食料（＝御食（みけ））として献上する御食国（みけつくに）のひとつであったという歴史がある。

条例の制定にともない、市では「食のまちづくり課」を新設して食の専門職員を配置。人は生涯を通じて食に育まれることから「生涯食育」の概念を提唱し、人は生まれ育った土地や環境と密接なつながりを持っていて、その土地で生産されたものを食べることが最もからだに良いという「身土不二（しんどふじ）」の理念の地産地消、ライフステージに合わせた細かな生涯食育事業に取り組んでいる。

7月29日（火）

石川県金沢市

・石川県立美術館の概要

総工費151億円 2022年に新築した新・石川県立図書館。巨大な吹き抜けの空間に、何重にも円を描くように本棚が配置されている光景は圧巻の一言。

2022年7月、それまでの金沢市本多町から金沢市小立野の金沢大学工学部跡地に移転、新たな県立図書館が開館。

2

愛称は「百万石ビブリオバウム」。図書を意味するラテン語の「ビブリオ」と木を意味する「バウム」を組み合わせ、建物、蔵書の規模感を「百万石」を冠して表しているとのこと。本だけでなく『人・モノ・情報』との出会いを通じて県民の皆さんの成長を後押しし、図書館そのものも進化し続けるようにとの思いが伝わってきた。

図書館の規模は、地上4階・地下1階建ての延床面積約2万2000㎡。外壁のガラスとパネルが折り重なった外観が特徴。

この図書館の魅力を徹底解説！見て回ってみると・・・

今日あなたがめくった知は、やがて誰かの知となり、新たな未来を育んでいく。思いもよらない本との出会いや体験を通して人が成長し、可能性が年輪のように重なり広がる場所へ。図書館が起点となり、「ひとり」から石川へ。世界へ。未来へ。知が無限にめぐり、めぐっていく。そして知はまた、あなたのもとへ。

素晴らしい空間にただ圧倒された。本市に是非とも長野県立図書館の誘致を検討したい。

・金沢市観光協会の戦略について

金沢ならではの観光資源を活用したコンテンツ造成や地域の観光事業者育成支援とともに、金沢の価値と魅力を効果的に発信するための観光地マネジメントや戦略的プロモーションを推進している。

金沢市と観光戦略を共有し、観光振興と観光地管理を調和させながら、地域全体の稼ぐ力を高める持続可能な観光地経営を行い、地域の観光事業者を育成、支援し、連携を促進して、金沢の魅力の向上に努めている。

2月8月の端境期に長野市との連携を模索している。互いの弱い所を協力し合えば今後の新たなインバウンド戦略に結び付く、今後の課題を共有し合った。

(危険な暑さの中での視察でしたが)、大変有意義な視察となりました。

令和7年度新友会経済文教部会 行政視察報告書

報告者：桜井 篤

◎視察先 福井県小浜市 令和7年7月28日

○説明者

御食国若狭おばま食文化館 中田 典子 氏

○概 要

小浜市は、「若狭湾」の恩恵を受けて発展した地域で、古代から豊富な海産物や塩を朝廷に献上した御食国（みけつくに）で、その後の時代も鯖街道を通じて「若狭もの」と評される海産物を都へ運び、日本の文化を支えてきた。

現在も豊かな食材とともに様々な郷土料理や行事食、へしこ、なれずしなど貴重な加工技術が継承されており、食に欠かせない「箸」も、若狭塗箸を中心に塗箸生産量は全国トップシェアである。

「もともと持っているものを活かしたまちづくり」にこだわり、御食国や鯖街道の誇れる歴史に裏付けされた食資源こそ小浜市最大の魅力だとして、2000年8月に食を核とした「食のまちづくり」を開始し、2001年9月には、全国初となる食をテーマにした条例「小浜市食のまちづくり条例」を制定し、食を核として産業振興、環境保全、食の安全安心の確保、福祉や健康づくり、食育推進など総合的な食の取り組みを地域一体で推進してきた。

2003年には「食のまちづくり課」を設置するとともに、「御食国若狭おばま食文化館」を開館した。全国で初めて食育の政策専門員を配置し全庁的な食のまちづくり推進体制を整備した。

中でも食育については、「生涯食育」や「義務食育」という独自の概念を提唱し、食文化館を中心に、「子どもの心の力を育む食育」や食関連産業の人材育成や食育ツアーリズムなど「地域経済を回す観点での食育」に力を入れており、「人は命を受けた瞬間から老いていくまで生涯を通じて食に育まれる」との考えから、「生涯食育」という概念で地産地消とともに世代ごとの食育事業を数多く実施してきた。

さらに、小浜で生まれ育つ子どもも全てが、食を学び体験できる環境、いわゆる「義務食育」体制を整備し、学校等の教育現場と行政の双方向からのアプローチを、市内全年長児および小中学生に対して実施している。

小浜市の食育観を最も色濃く表しているのが、幼児の料理教室「キッズ・キッチン」で、2003年度に開始し、市内全年長児が園単位で参加する基礎編と、個人単位の有料応募制で実施する拡大編の2本立てで実施している。これまで18年間の延べ参加者数は1万人を超え、小浜市では「年長になったら食文化館の『キッズ・キッチン』に参加する」ことが定着している。

「キッズ・キッチン」は、一般的な子ども料理教室とは一線を画し、「料理を学ぶのではなく、料理で学ぶ」をコンセプトに掲げ、小学校家庭科の調理実習と同等レベルの内容を、幼児が包丁や火の管理も含め料理のプロセス全般を主体的に取り組むことで、達成感、満足感、協調性、自立心・自律心等の獲得を目指すもの。

また、魚を捌く体験等を積極的に取り入れることで、「命をいただくこと」を体得し、感謝する心の育成も重要視している。2020年度からは新たなバージョンの「キッズ・キッチン MORE」も開始した。これは事業コンセプトの「料理を学ぶのではなく、料理で学ぶ」をより明確にするため定員を少なくし、少人数の子ども達とじっくり向き合いながら1～2週間の間隔で3回連続実習を積み重ねるもので、知識や技術の習得、箸使いなどのマナー等の項目に加え、協調性や挑戦する力、問題解決能力などの内面的な力など、合計43項目の達成目標を設定し、各自の達成率を数値化する工夫もしている。

3回の料理教室に参加した子ども達の目標達成率は平均9割を超え、保護者を対象にした調査でも、子どもの食に関する変化や食関連以外についても「自分に自信を持つようになった」、「視野が広がった」、「人との関わりを好むようになった」、また保護者自身も「口出しし過ぎず待てるようになった」、「子どもの力を信じて任せられるようになった」等の報告があり、参加した全ての子どもと保護者について、明確な肯定的変化とその効果の継続性を確認することが出来たなど、「食関連以外についても変化することや「間接的に大人を変える」という現象が起きている。

学校給食についても重要な食育の機会と捉え、市内全ての小中学校では自校炊飯による単独料理方式で、食材も可能な限り校区内で生産されたものを使う「校区内型地場産学校給食」を実施しており、児童生徒は、主な食材は「どこで、誰が作ったものか」を理解して食べている。

学校給食のほかにも、授業の一環として実施される農業体験や漁業体験、料理教室など、小中学生の食育体験学習は多岐に渡る。その中で特に力を入れているのが、「美しい箸づかいで、美しく魚を食べる子どもを増やそう」という取組みで、2013年度から学校給食に「マダイ給食の日」を設け、全小中学生が美しい箸づかいと小浜で育ったタイの食べ方を練習する。

さらに中学2年生になると、全員が食文化館において自ら鮮魚を捌き、調理し、美しい食べ方の所作を練習する。小浜で生まれ育った子ども全員が「美しい箸づかいで、美しく魚を食べる人」になれるよう、学校も行政も応援している。

【所 感】

新しくおいしい物を開発して売り出すのではなく、「元々持っているものを活かしたまちづくり」にこだわり、御食国や鯖街道の誇れる歴史に裏付けされた食資源こそ小浜市最大の魅力であるとして進めてきたこと、そして小浜で生まれ育つ子ども全てが、食を学び体験できる環境、いわゆる「義務食育」体制を整備し、市内全年長児および小中学生に対して実施していることが、広く定着・普及してきた要因だ

と感じた。

また、「生涯食育」や「義務食育」という独自の概念で、「子どもの心の力を育む食育」や食関連産業の人材育成や食育ツーリズムなど「地域経済をまわす観点での食育」に力を入れており、「生涯食育」という概念で地産地消と共に世代ごとの食育事業を数多く実施していることが素晴らしいと思った。

中でも、「美しい箸づかいで、美しく魚を食べる子どもを増やそう」という考えの下、2013年度から学校給食に「マダイ給食の日」を設け、全小中学生が美しい箸づかいと小浜で育ったタイの食べ方を練習するというユニークな取組は、子ども達が自信を持ち、親も子どもを信じて任せられるようになるなど、食育以外の効果を生み出しているところが効果的である。

◎視察先 石川県金沢市 令和7年7月29日

○説明者

石川県立図書館 副館長 森田 典子 氏

○概 要

平成29年3月に基本構想を策定し、令和元年10月に着工、令和4年3月に竣工し、令和4年7月16日に開館した。

旧金沢大学工学部跡地のうち北側に建設され、南側には金沢美術工芸大学も建設され、敷地の中央には県内各地からのアクセスも良好な山側環状道路に接続する都市計画道路も整備されている。

敷地面積は約3.3ha、建築面積は約7,300㎡、地上3階（一部4階）地下1階、開架冊数約30万冊、書庫周造能力約200万冊、閲覧席数約500席、駐車台数約400台、子どもエリア約2,000㎡、総工費は用地費を除き約150億円で、近年開館した図書館ではトップクラスの規模を誇る。

愛称は「百万石ビブリオバウム」で、石川県の代名詞である「百万石」と図書館を意味するラテン語、イタリア語の「ビブリオ」で図書館を表し、円形劇場のような大閲覧空間の形状が年輪をイメージさせることから、ドイツ語の「バウム」を使用している。

館内の新しい利用ルールとして、①「おしゃべり」をしても良い図書館（他人に迷惑にならない範囲で）、②閲覧エリアはペットボトル、水筒等、蓋が閉まる飲み物に限り持ち込み可能で、一部食事可能なエリアもある。

開館時間は、閲覧エリアは平日9:00～19:00、土日祝9:00～18:00、文化交流エリアは平日9:00～21:00、土日祝9:00～18:00で、毎週月曜日と年末年始、蔵書点検のために年10日程度休館する。

建物内部の特徴としては、フローリングや天井等の内装、書架等の家具に県産材をふんだんに取り入れ、当道府県図書館では全国トップクラスとなる木材を使用し

た、温もりのある落ち着いた空間を創出している。

大閲覧空間の特徴は、吹き抜けを多く書架が取り囲む円形劇場のようで、石川県独自の12テーマに沿って図書を配架（約8万冊）し、加賀五彩を東西南北の方角分け、エリア分けのカラーとして活用している。

石川県が誇る多彩な「伝統文化」と「里山里海・生物文化多様性」をテーマとして図書や資料（工芸品や民具）のコレクションは約4万点。

文化交流エリアには様々なイベントや休憩などに活用できるようなエントランスホール「屋内広場」や、コンサート等もできる階段状の「だんだん広場」のほか、自習などに活用できるラーニングスペース、図書館の本などで学んだ知識を実際に体験できる「ものづくり体験スペース」や「食文化体験スペース」を設置している。

こどもエリアは、乳幼児向けや小学生向けなど年齢によってゾーン分けを行い、幅広い年齢層が同時に利用しやすい空間で、高低差など変化に富んだ形状の書架・家具を配置し、あたかも「遊び場」を思わせるスペースとなっている。

床面に投影した映像を手足で触れるとセンサーが感知して映像が動くなど、子ども達が楽しめるスペースとなっている。こどもエリアに隣接した屋外には里山をイメージした「おはなしの森」があり、植物や昆虫の観察会やサツマイモ等の農作物の収穫体験なども行うことが可能で、本も活用しながら生きた知識が学べるようになっている。

【所 感】

この図書館は、単なる「本を借りる場所」という従来の図書館の枠を大きく超えた、まさに地域の知と文化の発信拠点として設計・運営されている印象がした。

まず、規模と機能面での充実ぶりは全国的にも屈指であり、約150億円を投じた空間に県産材をふんだんに使うことで、温もりと落ち着きが感じられる環境を実現している。

また、テーマ別の配架や加賀五彩を活かした色分けなど、石川県ならではの文化的アイデンティティが空間そのものに組み込まれており、「ここにしかない図書館」としての存在感がある。

さらに、利用ルールや空間構成が従来の図書館の常識を更新しており、「おしゃべりOK」や飲み物持ち込み、イベントや体験スペースの設置など、来館者が自由に学び、交流し、体験できる柔軟性がある。

これによって幅広い世代が自然に集まりやすく、図書館が静かに本を読む場所から地域の居場所へと進化していることが分かる。

こどもエリアや「おはなしの森」のように、遊びや自然体験を通して本と結びつける仕掛けは、子どもたちの好奇心や読書習慣の醸成に役立つと思われ、単に教育的な意義にとどまらず、将来的な地域人材の育成や文化継承にもつながると考えられる。

石川県の知と文化を未来へつなぐ拠点として極めて高いポテンシャルを持っており、観光資源としての側面も期待できる。今後は開館後の利用実績や地域との連携事例を積み重ねることで、全国のモデルケースとなる可能性がある。

◎視察先 石川県金沢市 令和7年7月29日

○説明者

金沢市観光協会 専務理事兼事務局長 桑原 秀忠 氏

○概 要

金沢地域（金沢市を含む4市2町）の観光客数は、北陸新幹線金沢延伸前の平成26年は844万人だったが、開通後の平成27年は1,006万人、コロナ禍の令和2～4年は落ち込んだが、令和6年には1,091万人と右肩上がりに増加している。

北陸新幹線利用者も延伸1年目は、在来線特急に比べて約3倍の926万人となり、10年目（敦賀延伸1年目）の令和6年は990万人となっている。

国内都市との交流プロモーションは、長野市との集客プロモーションパートナー都市協定を皮切りに、観光交流、文化交流など、これまでに全国で15市・区と結び、積極的に交流を行っている。

広域観光の主なものとしては、北陸・飛騨・信州3つ星街道観光協議会があり、ミシュランガイドに3つ星で紹介された金沢兼六園、世界遺産の五箇山、世界遺産の白川郷、飛騨高山、国宝松本城を結ぶ広域観光ルートを開発した。

金沢と飛騨高山を結び平成25年1月から1日3往復運航されていた高速乗合バス高山線は、平成28年9月からは1日9往復となって松本まで延伸されるほどのゴールデンルートに成長し、インバウンドの大幅増や高乗車率の人気路線となっている。

外国人宿泊者数も北陸新幹線金沢開業後から右肩上がりに増えており、開業前の平成26年は約20万人だったものが、平成元年には約61万人、令和6年には84万人と大幅に増加している。中でも外国人宿泊者の約49%は欧・米・豪で、アジア系の約39%を押さえてトップとなっている。

インバウンド客誘致の取組としては、ターゲットを欧・米・豪・台湾に絞ったプロモーションを行っており、現地旅行博への出店や商談会、富裕層向け旅行会社を対象のファムトリップ、SNSでの情報発信などを行っている。

今後の課題としては、観光客が訪れる時期や時間が集中してしまうため、季節や時期、時間、場所の分散化を考えている。そのため、観光客は減少する冬の誘客を促進するための「金沢冬の旅キャンペーン」や時間を分散させるための「伝統文化ナイトシアター」、「金沢ナイトミュージアム」など、夜のコンテンツ造成にも取り組んでいる。さらには市内にある新たな魅力の掘り起こしによる場所の分散化も図っている。

また、スマートフォンのGPS機能の人流データを活用して混雑予測を行うことで、市民や旅行者の満足度を向上させるなど、デジタル活用による観光快適度の向上にも努めている。

【所 感】

金沢駅を出た途端にまず感じたことは、駅前の風景が広大で大きな都市という印象を受けた。金沢市の人口は令和7年7月現在で約44万2千人と、長野市と比べて8万人ほどしか多くないが、駅周辺は整備され、高層のビルも多く、町の中を多くの人が行き来していた。

金沢市内の宿泊施設数は449、客室数は14,403室、収容人員は29,895人と多く、長野市の約7,600人と比較しても大きな開きがあり、多くの観光客を受け入れられる受け皿が用意されていると感じた。

また、来てくれる観光客を待っているだけでなく、広域観光にも力を入れており、周辺から観光客を呼び込んでくる努力もしっかりと行っており、右肩上がりの観光客数につながっている。

インバウンドの誘致も積極的に行っており、ターゲットを欧・米・豪・台湾に絞ったプロモーションや富裕層の取り込みなど、的を絞った観光戦略を展開しているところが効果を表している。

さらに、金沢市の観光が置かれている現状分析をしっかりと行い、その課題解決に向けた取組も行なっているなど、更なる観光客の増加に向けて積極的に取り組んでいる努力も参考になった。

金沢市観光協会は金沢駅の構内にあり、観光客の動向がすぐに分かるようになっているが、民間企業出身の女性のCMO（Chief Marketing Officer）が配置され、行政にはない柔軟な考え方で観光振興に取り組んでいることも参考になった。

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支払日	√ 令和 7年 7月 25日 √			
支払先	今井 紳一郎氏／住 昌彦氏			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	講 師 謝 金	新友会勉強会	22, 274円
	研 究 研 修 費		・「地域医療とオンライン診療」 ・「ミライを作る医療DX」	
	調 査 旅 費			
	資 料 作 成 費			
	資 料 購 入 費			
	広 報 ・ 広 聴 費			
	人 件 費			
	事 務 所 費			
	その他の経費			
合 計				22, 274円

(領収書添付欄)

領 収 書

令和7年7月25日

長野市議会新友会
会長 寺 沢 さゆり 様

¥ 11,137

新友会勉強会講師謝礼金として、上記のとおり領収いたしました。
但し、所得税として10.21%の源泉徴収を含む。

住 所:

氏 名:

今井 伸一郎

領 収 書

令和7年7月25日

長野市議会新友会
会長 寺 沢 さゆり 様

¥ 11,137

新友会勉強会講師謝礼金として、上記のとおり領収いたしました。
但し、所得税として10.21%の源泉徴収を含む。

住 所:

氏 名:

佐 昌彦

2025年7月25日

地域医療とオンライン診療

一般社団法人 信州医療開発
代表理事 今井紳一郎

自己紹介

今井 紳一郎

長野市生まれ 43歳

2009年 信州大学医学部卒
～2022年 外科医として県内外で勤務

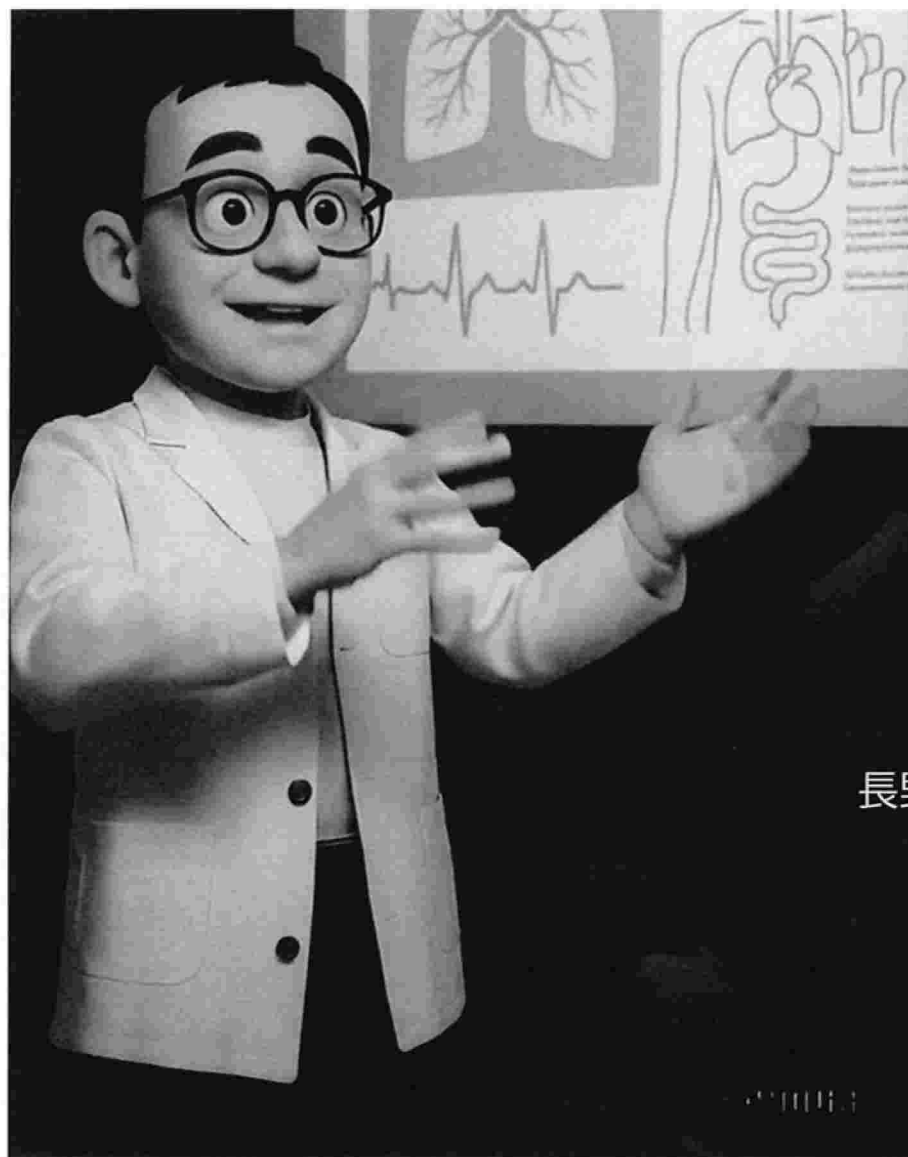
資格 外科学会専門医、消化器外科学会専門医、
消化器内視鏡学会専門医、内視鏡外科学会技術認定医 他

2022年12月 ときのクリニック開設 オンライン診療スタート

2024年4月 第1回長野県オンライン診療研究会

2024年9月 一社) 信州医療開発 設立 代表理事就任





ミライを作る医療DX

長野市民病院 チームデジタルDIGITAL2.0エバンジェリスト

住 昌彦

25/07/25



自己紹介

長野市民病院：チーム DIGITAL2.0エバンジェリスト
一般社団法人 信州医療開発

経歴

1998年3月 東京医科大学卒業
1999年5月 東京医科大学血液内科研修医
2000年4月 済生会宇都宮病院内科後期研修医
2001年4月 東京医科大学血液内科医師
2006年4月 長野赤十字病院血液内科副部長
2019年4月 長野赤十字病院血液内科部長
2024年4月 長野赤十字病院 退職
現在フリーランス医師として、
・ 長野市民病院
・ 飯山赤十字病院
・ わかまつ呼吸器内科クリニック で勤務

取得資格

日本血液学会指導医
日本造血・免疫細胞療法学会移植認定医
ITパスポート
生成AIパスポート
日商簿記検定試験3級
2級ファイナンシャル・プランニング技能士

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支 払 日	✓ 令和 7年 7月 30日			
支 払 先	NTT東日本			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	通信運搬費	7月分 FAX使用料	4,769円
	研究研修費		(026)229-6386	
	調査旅費			
	資料作成費			
	資料購入費			
	広報・広聴費			
	人件費			
	事務所費			
	その他の経費			
合 計				4,769円

(領収書添付欄)

電話料金等領収証
(Receipt)

ご請求番号または
お客さま電話番号等

お客さま氏名
長野市役所 議会事
務局 (新友会) 様

金 額
2025年 7月分
¥4,769
うち、消費税等当額 433円

NTT東日本株式会社

埼玉事業部
お客さまからの
料金お問い合わせ先(無料)
0120-002-992



TEL (無料) 0120-002-992

送付先: 〒983-0841

仙台市宮城野区 原町

6丁目 日本郵便株式会社仙台東郵便局

私書箱2号

5

社用 101001321001 00385 00312 00*

コード

NTT東日本料金請求書

(NTTEAST-Bill)

長野市役所 議会事務局 (新友会) 様



※お問い合わせの際は、番号をよくお確かめのうえおかけください。

ご注文・お問い合わせは局番なしの「116」へ(無料)	携帯電話・PHSからは 0120-116-000(無料)
電話の故障は局番なしの「113」へ(無料)	携帯電話・PHSからは 0120-444-113(無料)
ひかり電話の故障は0120-000-113へ(無料)	携帯電話・PHSからも利用可能

2025年 7月 26日発行

日ごろ、NTT東日本をご利用いただきましてありがとうございます。
ご利用料金内訳書の内容を十分ご確認のうえ、お支払い願います。

料金お問い合わせ先 0120-002-992 (無料)

お客さま電話番号等 (026)229-6386	ご請求年月 2025年 7月分	ご請求額 (Charge) 4,769 円	お支払期限 (Due Date) 2025年 8月 12日
ご請求番号			
ご 請 求 の 内 訳	金 額 (円)	お 知 ら せ	
NTT東日本ご利用分 (合計)	4,769 4,769	詳細については、「ご利用料金内訳書」をご覧ください。	

●お支払期限後に支払われた場合は、契約約款等に定める延滞
利息をお支払いいただく場合があります。

	料金お問い合わせ電話受付
営業時間	午前9時～午後5時 ※土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は休業とさせていただきます。

↓下の部分を切り取り、裏面の各お支払い場所にてお支払い願います。

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支払日	✓ 令和 7年 7月 30日			
支払先	NTT東日本			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	通信運搬費	7月分 NTT Bフレッツ利用料	5,940円
	研究研修費			
	調査旅費			
	資料作成費			
	資料購入費			
	広報・聴費			
	人件費			
	事務所費			
	その他の経費			
	合 計			5,940円

(領収書添付欄)

電話料金等領収証
(Receipt)ご請求番号または
お客さま電話番号等お客さま氏名
長野市役所 議会事
務局 (新友会) 様

金 額

2025年 7月分

¥5,940

うち、消費税相当額

540円

NTT東日本株式会社

埼玉事業部

お客さまからの
料金お問い合わせ先(無料)

0120-002-992



(お客さま)



NTT東日本株式会社
埼玉事業部

380-0813

長野市大字鶴賀緑町1613

TEL 0120-002-992

(無料) 受付先: 千983-0841

仙台市宮城野区 原町

6丁目 日本郵便株式会社仙台東郵便局

私書箱2号 5

社用 101001221001 00179 00177 00*

コード NTT東日本料金請求書
(NTTEAST-Bill)

長野市役所 議会事務局 (新友会) 様



※お問い合わせの際は、番号をよくお確かめのうえおかけください。

ご注文・お問い合わせは局番なしの「116」へ(無料) 携帯電話・PHSからは0120-116-000(無料)

電話の故障は局番なしの「113」へ(無料) 携帯電話・PHSからは0120-444-113(無料)

ひかり電話の故障は0120-000-113へ(無料) 携帯電話・PHSからも利用可能

2025年 7月16日発行

日ごろ、NTT東日本をご利用いただきましてありがとうございます。
ご利用料金内訳書の内容を十分ご確認のうえ、お支払い願います。

料金お問い合わせ先 0120-002-992 (無料)

お客様電話番号等		ご請求年月 2025年 7月分	ご請求額 (Charge) 5,940 円	お支払期限 (Due Date) 2025年 7月31日
ご請求の内訳	金額 (円)	お知らせ		
NTT東日本ご利用分 (合計)	5,940 5,940	詳細については、「ご利用料金内訳書」をご覧ください。		

●お支払期限後に支払われた場合は、契約約款等に定める延滞
利息をお支払いいただく場合があります。

料金お問い合わせ電話受付
営業時間 午前9時～午後5時
※土曜・日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は休業とさせていただきます。

↓下の部分を切り取り、裏面の各お支払い場所にてお支払い願います。

[illegible]

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支払日	✓ 令和 7年 7月 31日			
支払先	[REDACTED]			
活動に要 した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	賃 金	[REDACTED] 7月分賃金 1,050円×136.5時間 1,050円×1.25×0.5時間	143, 981円
	研究研修費		[REDACTED] 7月分賃金 1,050円×137.5時間	144, 375円
	調査旅費			
	資料作成費			
	資料購入費			
	広報・広聴費			
	人 ① 費			
	事務所費			
	その他の経費			
合 計				288, 356円
(領収書添付欄)				

政務活動費支出命令書(会派支出)

新友会

会派名

支払日	√ 令和 7年 7月 31日			
支払先	[Redacted]・[Redacted]			
活動に要した経費	使 途 区 分	経費の内訳、算出根拠等		金 額
	(該当項目に○)	通 勤 費	[Redacted] 7月分通勤費 800円×19日	15, 200円
	研究研修費		[Redacted] 7月分通勤費 400円×22日	8, 800円
	調査旅費			
	資料作成費			
	資料購入費			
	広報・広聴費			
	人 (件) 費			
	事務所費			
	その他の経費			
合 計				24, 000円
(領収書添付欄)				

出勤簿

令和 7年 7月分	氏 名	
-----------	-----	--

日	曜日	出 勤	退 勤	勤務時間	実勤務時間	時間外	休日出勤	年 次 有給休暇	備 考
1	火	9:00	16:00	7:00	6:00				
2	水							6:00	
3	木	9:00	16:00	7:00	6:00				
4	金	9:00	16:00	7:00	6:00				
5	土								
6	日								
7	月	9:30	16:00	6:30	5:30				
8	火	9:00	17:00	8:00	7:00				委員会
9	水	9:00	16:00	7:00	6:00				
10	木	9:00	16:00	7:00	6:00				
11	金	9:00	16:00	7:00	6:00				委員会
12	土								
13	日								
14	月	9:00	16:00	7:00	6:00				委員会
15	火	9:30	16:00	6:30	5:30				
16	水							6:00	
17	木							6:00	
18	金	9:00	16:00	7:00	6:00				
19	土								
20	日								
21	月								
22	火	9:00	16:00	7:00	6:00				
23	水	9:00	16:30	7:30	6:30				委員会、協議会
24	木	8:30	16:00	7:30	6:30				役員会
25	金	9:00	17:00	8:00	7:00				勉強会
26	土								
27	日								
28	月	9:00	17:00	8:00	7:00				
29	火	9:30	16:00	6:30	5:30				委員会
30	水	8:30	18:00	9:30	8:00	0:30			審査会、地域経済研究会
31	木	9:00	16:00	7:00	6:00				上越・長野市議会研修会
計				138:00	118:30	0:30		18:00	137:00

上記のとおり勤務したことを証明します。

氏 名 寺沢さゆり



金 159,181 円
(うち通勤費 15,200 円)

左記金額領収致しました。
令和7年 7月 31日
氏 名



出勤簿

令和 7年 7月分		氏 名	
-----------	--	-----	--

日	曜日	出 勤	退 勤	勤務時間	実勤務時間	時間外	休日出勤	年 次 有給休暇	備 考
1	火	9:00	16:00	7:00	6:00				
2	水	9:00 ✓	16:30	7:30	6:30				
3	木	9:00	16:00	7:00	6:00				
4	金	10:00	16:00	6:00	5:00				
5	土								
6	日								
7	月	13:00	16:00	3:00	3:00			3:00	
8	火	9:00	16:30	7:30	6:30				委員会
9	水	9:00	16:00	7:00	6:00				
10	木	9:00	16:00	7:00	6:00				
11	金	9:30	16:00	6:30	5:30				委員会
12	土								
13	日								
14	月	9:00	16:00	7:00	6:00				委員会
15	火	9:00	15:30	6:30	5:30				
16	水	9:00	16:00	7:00	6:00				
17	木	9:00	16:30	7:30	6:30				
18	金	9:00	12:00	3:00	3:00			3:00	
19	土								
20	日								
21	月								
22	火	9:00	16:30	7:30	6:30				
23	水	9:00	17:00	8:00	7:00				委員会、協議会
24	木	8:30	16:00	7:30	6:30				役員会
25	金	9:00	17:00	8:00	7:00				勉強会
26	土								
27	日								
28	月	9:00	17:00	8:00	7:00				
29	火	9:30	16:30	7:00	6:00				委員会
30	水	9:00	18:00	9:00	8:00				審査会、地域経済研究会
31	木	9:30	16:30	7:00	6:00				上越・長野市議会研修会
計				151:30	131:30			6:00	137:30

上記のとおり勤務したことを証明します。

氏 名 寺沢さゆり



金 153,175 円
(うち通勤費 8,800 円)

左記金額領収致しました。
令和7年7月31日
氏 名

